ASTRO PRODUCTS

取扱説明書

ＡＰ 除雪機 ６．５ＨＰ

●ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解してから、お使いください。

1．取扱説明書について

●この度は、アストロプロダクツ製品をお買上頂きまして、誠にありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、安全にお使い下さいますよう、お願いいたします。

●当社の許可なく、取扱説明書の内容全部、または一部を複製・改修し、無断で転載することは、禁止されています。

●安全上の注意や製品仕様などは、予告なく変更される場合があります。そのため、お客様が購入された製品と、取扱説明書に記載された内容が、一部異なる場合がありますので、ご了承ください。

2．はじめに

●この取扱説明書、および製品本体に貼り付けられたラベルは、安全に関わる重要な注意事項を、危険・警告・注意のマークを使用し表現しています。製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を、未然に防止するためのものですので、必ず守ってください。

●本製品を使用する前に、取扱説明書に記載されている各項目をよく読み、理解し厳守してください。取扱説明書をなくしたり、汚したりせず、使用者が任意に読むことができるよう、大切に保管してください。

●危険・警告・注意事項の意に反して、安全義務を怠り、規定外の使用による機器の破損やケガなどに関しては、当社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

【安全に関する表示について】

⚠ 危険	この表示内容を無視し、誤った使い方をすると、死亡や重傷などの、重大な傷害を負う危険が、差し迫った状態を示しています。
⚠ 警告	この表示内容を無視し、誤った使い方をすると、死亡や重傷などの、重大な傷害を負う可能性を、示しています。
⚠ 注意	この表示内容を無視し、誤った使い方をすると、人的傷害、および製品の故障や、その他、物的損害が発生する可能性を、示しています。
要点	この表示内容は、製品を正しくお使いいただくため、守っていただきたい、重要な要点を示しています。

３．目次

４．安全に使用していただくために・・・・Ｐ４
・危険・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ４
・警告・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ６
・注意・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１０
５．重要ラベル・・・・・・・・・・・・Ｐ１１
６．製品仕様・・・・・・・・・・・・・Ｐ１３
７．製品特徴・・・・・・・・・・・・・Ｐ１３
８．各部名称・・・・・・・・・・・・・Ｐ１４
９．各部説明・・・・・・・・・・・・・Ｐ１６
１．走行・除雪クラッチレバー・・・・Ｐ１６
２．シフトレバー・・・・・・・・・・Ｐ１６
３．オーガ・・・・・・・・・・・・・Ｐ１７
４．ブロア・・・・・・・・・・・・・Ｐ１７
５．シャーピン・・・・・・・・・・・Ｐ１８
６．シューター・・・・・・・・・・・Ｐ１８
７．シューターディフレクター・・・・Ｐ１９
８．スノーブレーカー・・・・・・・・Ｐ１９
９．スキッド・・・・・・・・・・・・Ｐ２０
１０．雪かき棒・・・・・・・・・・・・Ｐ２０
１１．作業灯・・・・・・・・・・・・・Ｐ２１
１２．タイヤ・・・・・・・・・・・・・Ｐ２１
１０．始動前準備・・・・・・・・・・・Ｐ２２
１０－１．エンジンオイルの給油・・・・Ｐ２２
１．エンジンオイルについて・・・・・Ｐ２２
２．給油方法・・・・・・・・・・・・Ｐ２２
１０－２．ガソリンの給油・・・・・・・Ｐ２３
１．ガソリンについて・・・・・・・・Ｐ２３
２．給油方法・・・・・・・・・・・・Ｐ２３
１１．エンジンの始動・停止・・・・・・Ｐ２４
１１－１．始動方法・・・・・・・・・・Ｐ２４
１．エンジンの始動場所について・・・Ｐ２４
２．操作方法・・・・・・・・・・・・Ｐ２４
１１－２．停止方法・・・・・・・・・・Ｐ２６
１．エンジンの停止場所について・・・Ｐ２６
２．操作方法・・・・・・・・・・・・Ｐ２６
１２．運転方法・・・・・・・・・・・・・Ｐ２７
１２－１．前進方法・・・・・・・・・・Ｐ２７
１．走行前の確認・・・・・・・・・・Ｐ２７
２．操作方法・・・・・・・・・・・・Ｐ２７
１２－２．後進方法・・・・・・・・・・Ｐ２８
１．走行前の確認・・・・・・・・・・Ｐ２８
２．操作方法・・・・・・・・・・・・Ｐ２８
１３．除雪方法・・・・・・・・・・・・・Ｐ２９
１３－１．準備・・・・・・・・・・・・Ｐ２９
１．除雪作業準備・・・・・・・・・・Ｐ２９
２．各部調整・・・・・・・・・・・・Ｐ２９
１３－２．除雪・・・・・・・・・・・・Ｐ３０
１．除雪操作・・・・・・・・・・・・Ｐ３０
２．シャーピンの交換・・・・・・・・Ｐ３０
１４．点検・整備・・・・・・・・・・・・Ｐ３１
１４－１．定期運転・交換・・・・・・・Ｐ３１
１４－２．点検・交換目安・・・・・・・Ｐ３１
１４－３．エンジンオイルの点検・交換・Ｐ３２
１４－４．エアクリーナーの清掃・・・・Ｐ３４
１４－５．スパークプラグの点検・交換・Ｐ３５
１４－６．ギアケースの点検・・・・・Ｐ３６
１４－７．各クラッチレバーの調整・・・Ｐ３７
１５．燃料の抜き方・・・・・・・・・・・Ｐ３８
１６．運搬・保管・・・・・・・・・・・・Ｐ３９
１６－１．運搬・・・・・・・・・・・・Ｐ３９
１６－１．保管・・・・・・・・・・・・Ｐ３９
１７．トラブルシューティング・・・・・Ｐ４０
１８．破棄について・・・・・・・・・・Ｐ４１
１９．所有者・使用者責任・・・・・・・Ｐ４１
２０．故障について・・・・・・・・・・Ｐ４１
２１．販売規約・・・・・・・・・・・・Ｐ４２
２２．アフターサービス・・・・・・・・Ｐ４３
２２－１．個人情報の取り扱い・・・・・Ｐ４３
２２－２．お問い合わせ先・・・・・・・Ｐ４３
１．カスタマーサービス・・・・・・・Ｐ４３
２．販売元・・・・・・・・・・・・・Ｐ４３

4．安全に使用していただくために

⚠危険

■作業をはじめる前に

●通気がよく、常に換気のできる場所で使用してください。室内・車内・倉庫内・トンネルなど、通気の悪い場所での使用は、絶対に止めてください。

・通気の悪い場所では、一酸化炭素が溜まります。一酸化炭素を吸い込むと、ガス中毒の原因となり、非常に危険です。

●除雪作業前には、必ず除雪作業場所を、よく点検してください。木片、缶、石、針金、ナワ、金属片などの異物は、全て取り除いてください。

・異物は、本体故障やケガ、事故の原因となり、大変危険です。

●確実に操作するために、各部の操作に慣れ、素早く運転を停止する方法を、習得してください。

・不慣れな状態での操作は、重大な事故を招く可能性があり、非常に危険です。

●修理技術者以外の人は、本取扱説明書に記載されていない、分解・修理・改造は、しないでください。

・異常作動、加熱、発火、感電など、事故の原因となります。

■燃料の給油

●燃料の給油は、安全確認を怠ると、火災や爆発の危険があります。以下の内容に、必ず従ってください。

・タバコを吸わない。
・火気や火気を発生させる物の側で給油しない。
・通気のよい場所で給油する。
・静電気を除去してから給油する。
・エンジンを停止させる。

●給油後は、燃料の漏れがないことを確認してください。

・燃料漏れは、重大な事故の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

●燃料がこぼれた場合は、速やかに拭き取り、完全に乾燥するまでは、給油しないでください。

・引火など、重大な事故の原因となります。

■除雪作業時

●除雪中、オーガやブロアは回転しています。覗き込んだり、手や足を入れないでください。

・ケガや事故の原因となり、大変危険です。

●除雪中、シューターに手や足を入れたり、顔を近づけたりしないでください。

・巻き込まれて、ケガをしたり、重大な事故の原因となります。

4．安全に使用していただくために

⚠危険

■除雪作業時

●除雪機を屋根の上では、使用しないでください。

・作業者の転倒や落下、除雪機の横転や落下など、重大な事故の原因となり、非常に危険です。

●雪の中には、石や氷などの異物が、混ざっている可能性があります。

・異物は、雪よりも遠くに飛ぶ恐れがあり危険です。

●除雪作業中は、人や動物を近づけないでください。ケガや事故の原因となり、危険です。

・周囲に人や動物がいるときや、近づいたときは、除雪作業を止めてください。

●雪の上は、大変滑りやすく、転倒する危険があります。

・足元に十分注意し、走らずに、ゆっくりと走行してください。

●後進するときは、足元に十分注意し、背後の安全を、よく確認してください。

・滑りやすい足元は、転倒し除雪機の下敷きになる可能性があり危険です。また、背後の安全確認を怠ると重大な事故を、招く可能性があります。

●人や動物、建物、自動車などに向けて、投雪しないでください。

・ケガや事故の原因となり、大変危険です。

●オーガ・走行クラッチを、ヒモや針金などで縛って固定しないでください。

・切迫した状況下のときに、本体が停止せずに巻き込まれたり、ひかれる恐れがあり、非常に危険です。

●傾斜面を、横切って除雪しないでください。また、傾斜面で方向を変えるときは、十分速度を落とし、足元に注意してください。

・作業者の転倒や、除雪機の横転など、ケガや事故の原因となり、大変危険です。

●オーガやシューターに詰まった雪を、取り除くときは、必ずエンジンを停止してください。また、誤ってエンジンが作動しないように、スパークプラグからプラグコードを抜いてください。

・エンジン始動中や、始動状態での作業は、重大な事故を招く可能性があり、非常に危険です。

●エンジンを始動させた状態で、放置しないでください。除雪機から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。

・不意に作動する恐れがあり、思わぬ事故の原因となり危険です。

■点検・保管時

●点検・清掃をするときは、エンジンを停止し、誤ってエンジンが作動しないように、スパークプラグからプラグコード抜いてください。

・エンジン始動中や、始動状態での作業は、重大な事故を招く可能性があり、非常に危険です。

4．安全に使用していただくために

⚠ 警告

■作業をはじめる前に

●使用前には、必ず取扱説明書を熟読し、本製品の使用方法をよく理解してから、使用してください。

・使用方法が不明な場合は、使用せずにお買い求めの販売店へ、相談してください。

●本製品は、自動車整備士資格を有する方を対象に作られております。

・エンジンやガソリンなど、自動車の知識が必要です。

●本製品を他人に貸すときは、必ず取扱説明書も一緒に渡してください。

・誤った使用により、ケガや事故の原因となります。

●警告・注意ラベルを、汚したり、剥がしたりしないでください。

・誤った使用により、ケガや事故の原因となります。

●本製品は、除雪することを目的に作られています。

・他の用途での使用は想定されていません。絶対に、目的の用途以外では、使用しないでください。

●誤った使用方法により生じた、商品破損、人体への損傷、物品やその他のいかなる損害に対しても、当社では一切の保証、並びに責務を負いかねますので、ご了承ください。

・取扱説明書の使用方法を、よく理解してください。

●使用者以外、使用場所に近づけないでください。

・特に子供や幼児は、危険な行動をとることがあるので、絶対に近づけないでください。

●本製品は、大切に取り扱ってください。

・横転や強い衝撃が加わった場合は、必ず各部に異常がないか点検してください。

・異常に気が付いた場合は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店まで点検、または修理の依頼をしてください。

●本体が異常に熱い、異音・異臭がする、その他異常を感じた場合は、速やかに使用を中止してください。

・異常に気が付いた場合は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店まで点検、または修理の依頼をしてください。

●危険・警告・注意事項をよく守り、安全に配慮し操作してください。

・取り扱いを誤ると、重大な事故につながります。

●過労と思われるときや、飲酒や薬物を服用しているときに、使用しないでください。

・判断力が鈍り、重大な事故の原因となります。

●子供や妊娠中の方は、絶対に本製品を操作しないでください。

・重大な事故の原因となります。

●作業間には、必ず防寒用の衣類を着用してください。

・滑りにくい靴、防寒着、防寒手袋、帽子

4．安全に使用していただくために

⚠ 警告

■作業をはじめる前に

●以下の服装などは、巻き込まれケガをしたり、事故の原因となり危険です。

・長髪を束ねたりせずに、そのままの状態にしている。束ねたり、帽子を着用してください。

・ネックレスなどの、装飾具を身に付けている。身に付けないでください。

・サイズの極端に大きな防寒具などを、着用している。身体のサイズに合った、衣類を着用してください。

●以下の作業環境下では、使用しないでください。

・足元が滑りやすく、不安定な場所

・夜間や霧が発生し、視界が悪く、周囲の安全をよく確認ない場合

・吹雪、強風、雷の発生など、悪天候時

・傾斜のある場所

・火気、可燃性のガス・液体のある場所

・通気が悪く、換気のできない場所

・ガラス、釘、針金、ヒモなどが落ちている場所

●作業前に、オーガ、ハウジング、シューターなどに異物がないか、点検してください。

・異物は、本体故障やケガ、事故の原因となり、大変危険です。

●身体をアースさせる物に、接触させないでください。

・感電する恐れがあります。

●周辺温度が４０℃以上になる高温な場所、直射日光下では使用しないでください。

・熱中症になる恐れがあります。

■燃料の給油

●燃料の給油中、燃料タンク内に水、雪、氷が入らないよう十分注意してください。

・故障の原因となります。

●タンクキャップは、確実に締め付けてください。

・不十分な締め付けは、燃料漏れの原因となり危険です。

●エンジンの始動は、給油した場所より、３m以上離れた場所で始動してください。

・引火し、火災や爆発の危険があります。

●燃料が皮膚に付着してしまった場合は、以下の処置を施してください。

・石けんと水で、よく洗い流してください。

●誤って燃料が口や目に入った場合は、速やかに以下の処置を施してください。

・ただちにきれいな水で、少なくとも１０分間はよく洗い流し、速やかに医師の診断を受けてください。

4．安全に使用していただくために

⚠ 警告

■除雪作業時

●早朝や夜間、悪天候など、視界の悪いときには、除雪作業をしないでください。

・重大な事故を招く可能性があります。

●早朝や夜間など、視界が見えにくいときは、作業灯を点灯し、十分な照明のもと、作業してください。

・ケガや事故の原因となります。

●移動中は、除雪クラッチレバーを、握らないでください。

・オーガを回転させながら走行することは、事故の原因となります。

●除雪作業中は、ハンドルをしっかり握ってください。

・振動により、思わぬ方向に進み、事故の原因となります。

●砂利のある場所を走行するときは、オーガを回転させずに、走行してください。

・砂利が飛ぶ恐れがあります。

●急発進は、止めてください。必ず、１速から走行し、徐々に速度を上げてください。

・急発進は、思わぬ事故の原因となります。

●運転直後のエンジンやマフラーは、大変高温になっています。冷めるまでは、人が触れない場所に置いてください。

・ケガやヤケドをする恐れがあります。

●駐車するときは、平坦な場所に駐車してください。

・傾斜のある場所での駐車は、横転の恐れがあります。

●無理な姿勢で、使用しないでください。

・ケガや事故の原因となります。

●不意にクラッチを、操作しないでください。

・思わぬ事故の原因となります。

●雪が絡まった状態で、使用しないでください。

・故障や事故の原因となります。

●素手で、オーガやシューターに詰まった雪を、取り除かないでください。必ず、手袋を着用し、雪かき棒で雪を取り除いてください。

・ケガをする恐れがあります。

●エンジン始動中に、プラグコード、プラグキャップに触れないでください。

・感電の恐れがあります。

4．安全に使用していただくために

⚠ 警告

■点検・保管時

●本体から離れるとき、点検・清掃・交換時は、必ずエンジンを止めてください。

・ケガや事故の原因となります。

●エンジンやマフラーが、完全に冷めてから、点検・保管してください。

・加熱された状態での保管は、思わぬ事故の原因となります。

●使用しない場合は、施錠のできる場所に保管してください。

・思わぬ事故の原因となります。

●使用者以外、保管場所に近づけないでください。

・特に子供や幼児は、危険な行動をとることがあるので、絶対に近づけないでください。

4．安全に使用していただくために

⚠ 注意

■作業をはじめる前に

●各パーツの状態を確認してください。

・損傷・破損、サビ、欠品などが確認できる場合は、お買い求めの販売店へ相談してください。

●組み立ては、純正部品を使用してください。

・他製品の部品を取り付けないでください。思わぬ事故の原因となります。

●使用前に、毎回必ず各部の点検を行ってください。

・故障や事故を未然に防ぐことができます。

■除雪作業時

●本体移動は、ハンドルをしっかり握って、移動してください。

・他の部位を持っての移動は、思わぬ事故の原因となります。

●カバーを掛けたまま、使用しないでください。

・カバーが熱で溶け、火災の原因となります。

●エンジン始動中は、３分以上回転を停止しないでください。

・故障の原因となります。

●低回転で使用すると、本来の性能が発揮できません。

・故障する恐れがあります。

■点検・保管

●規定量以上のエンジンオイルを、給油しないでください。

・エンジンの不調や損傷・破損の原因となります。

●長期間使用しないときは、必ず燃料を抜いてください。

・燃料の劣化により、エンジン始動不良や故障の原因となります。

●燃料タンク内に、燃料を入れたまま運搬しないでください。

・燃料がこぼれる恐れがあります。

●出荷前状態では、エンジンオイルが入っていません。

・初回使用前には、必ず４サイクルガソリンエンジンオイルを給油してください。

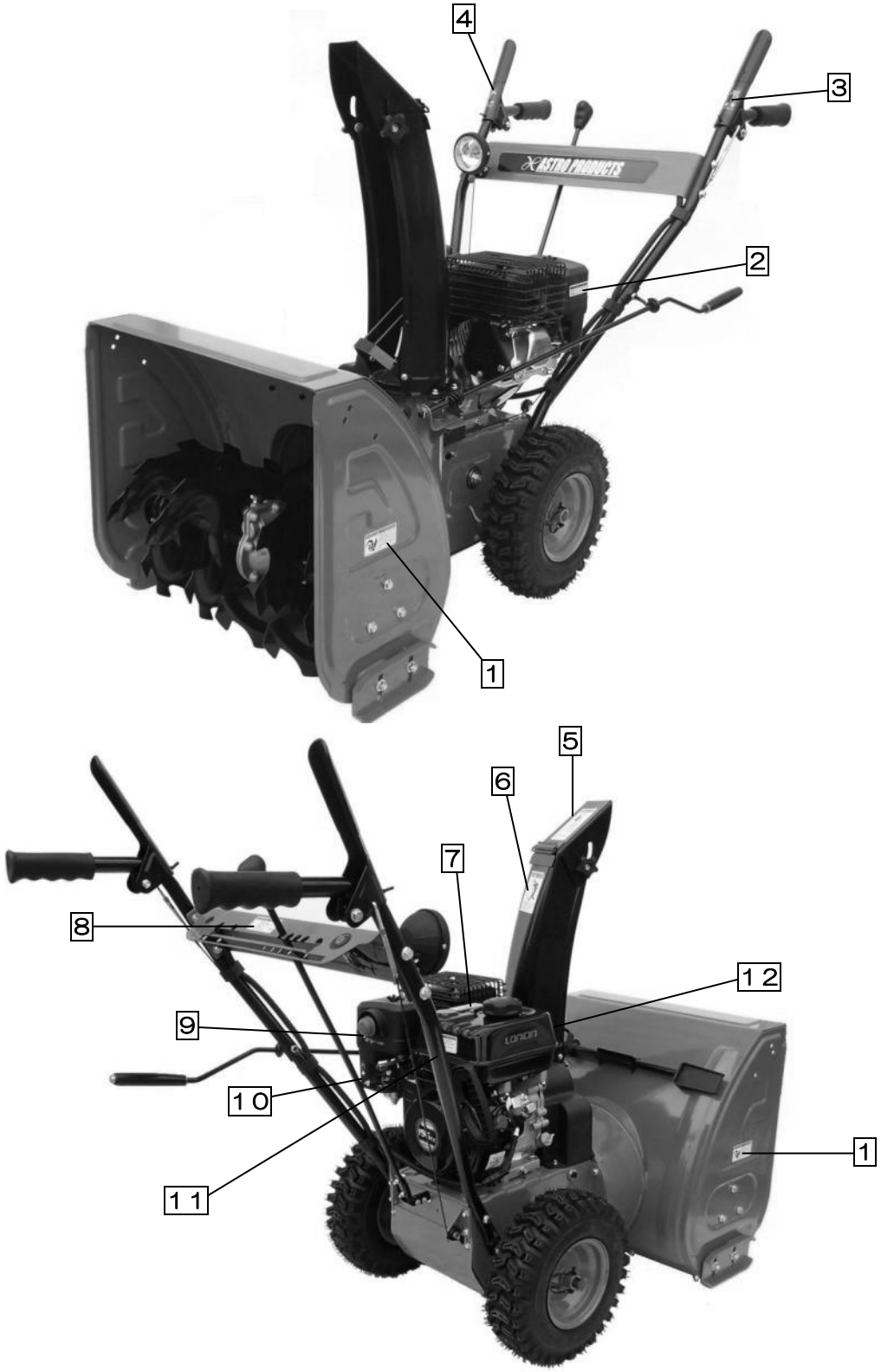
●無鉛レギュラーガソリンを使用してください。

・他の燃料の使用は止めてください。

5．重要ラベル

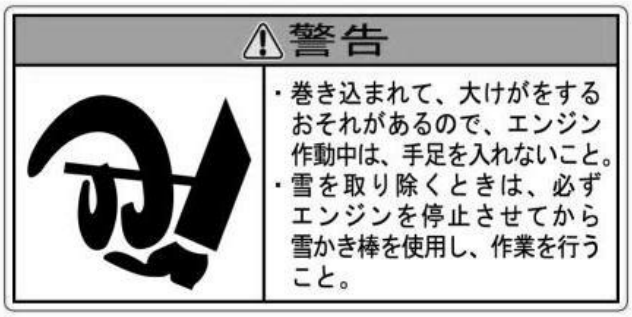
●安全な取り扱いのために、除雪機本体に貼られている、重要ラベルを全て読み、指示に従ってください。

・ラベルを、汚したり、剥がしたりしないでください。

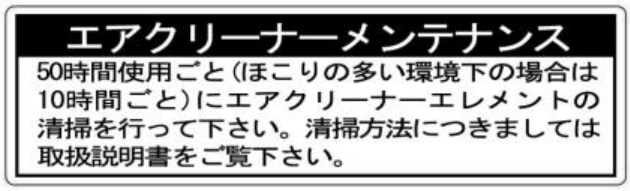


5．重要ラベル

1



2



3

4

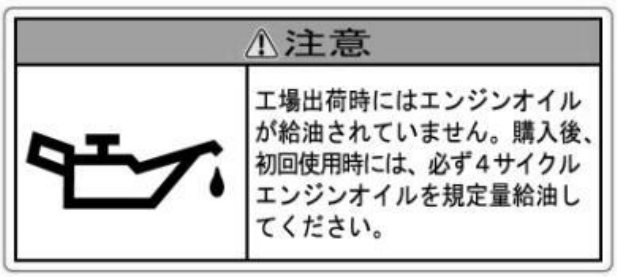
9

10

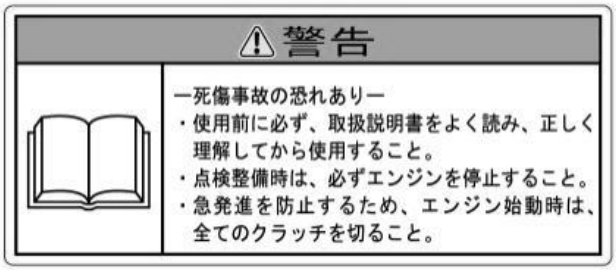
5

6

7



8



11

12

6．製品仕様

商品コード	２０１６０００００３９９４
商品型番	ＡＰ１６０３９９
最大出力	６．５ＨＰ（４．８ｋｗ）
エンジン回転数	３，６００ｒｐｍ
燃料	無鉛レギュラーガソリン
始動方法	空冷４サイクルガソリンエンジン
排気量	１９３ｃｃ
エンジンオイル量	約０．６Ｌ
燃料タンク容量	約２Ｌ
除雪幅	５５０mm
投雪距離	１０～１５m
重量	７３ｋｇ
本体サイズ	Ｗ６１０×Ｌ１，４００×Ｈ１，０６０mm

●製品改良のため、主要機能、および形状などは、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

●本製品は、６ヶ月保証対象品です。製品保証規定項目を参照してください。

7．製品特徴

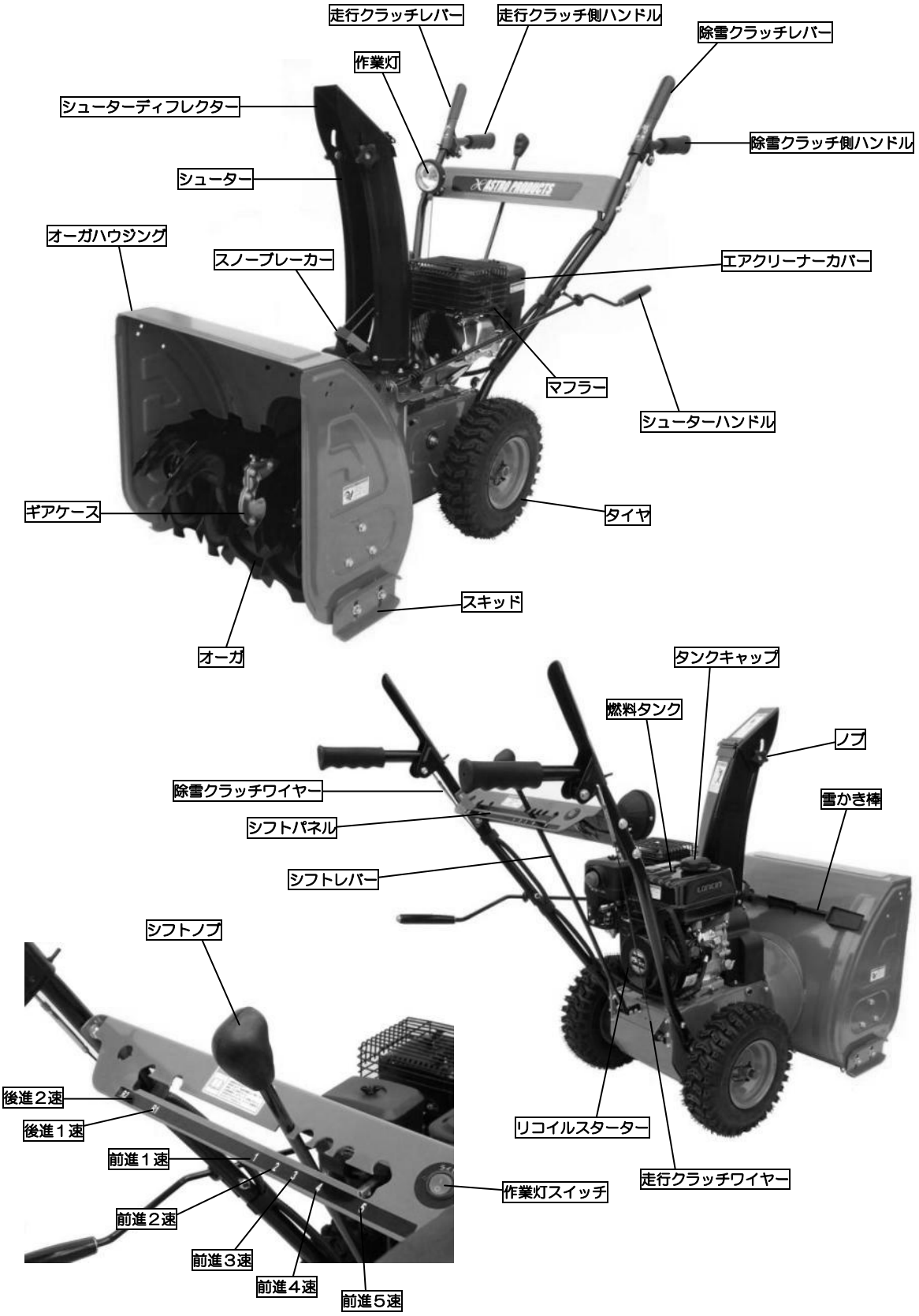
●小回りしやすい、タイヤタイプの除雪機です。

●６．５ＨＰ（４．８ｋｗ）タイプで、庭や駐車場などの除雪に最適です。

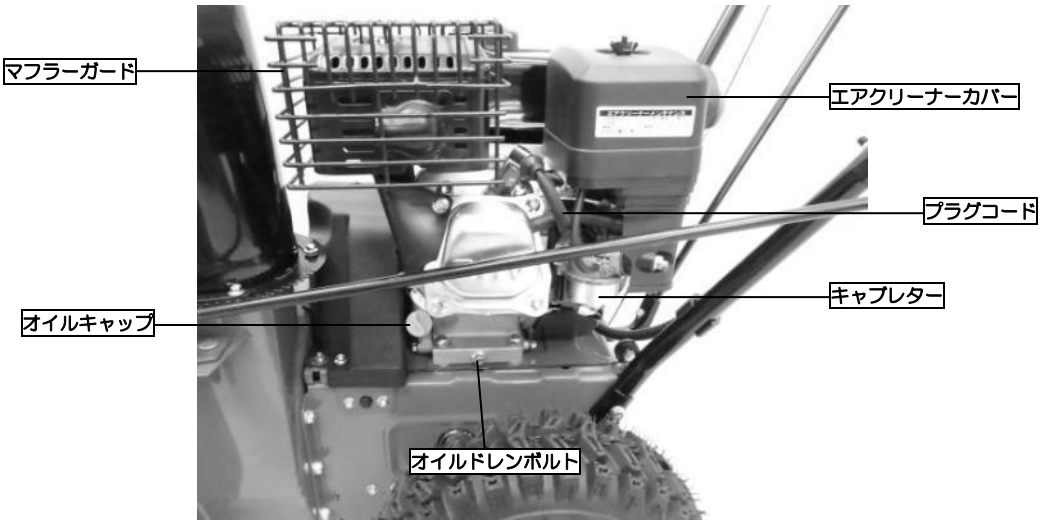
●前後進機能付きで、速度の変更も可能です。

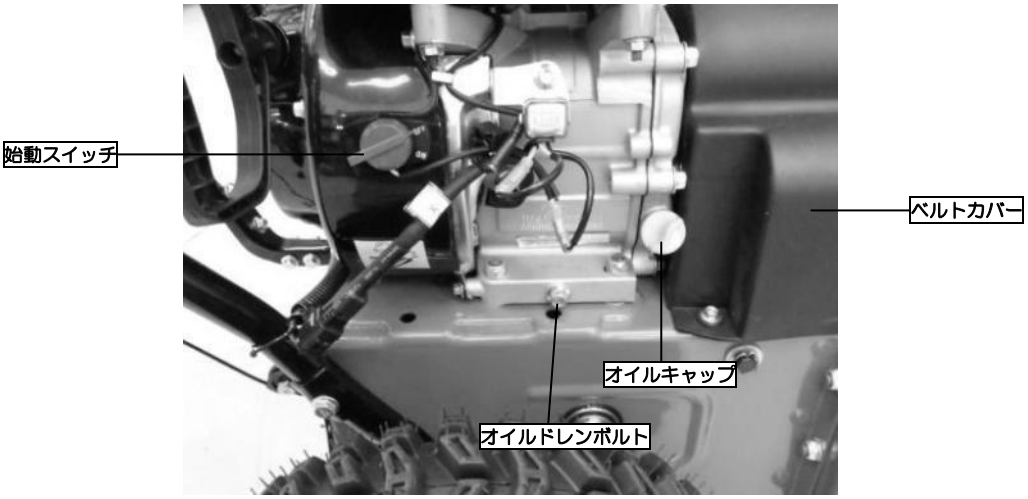
●クラッチレバーは、離すだけで走行・除雪が停止するので、安心して除雪できます。

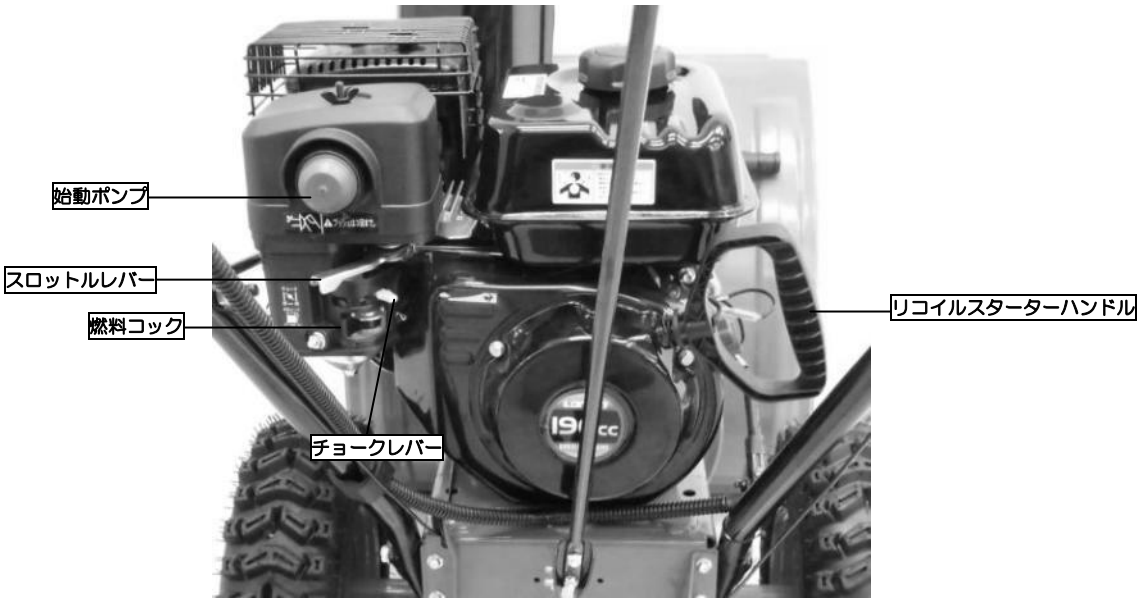
8．各部名称


走行クラッチレバー
走行クラッチ側ハンドル
除雪クラッチレバー
作業灯
シューターディフレクター
除雪クラッチ側ハンドル
シューター
オーガハウジング
スノーブレーカー
エアクリーナーカバー
マフラー
シューターハンドル
ギアケース
タイヤ
スキッド
オーガ
タンクキャップ
燃料タンク
ノブ
除雪クラッチワイヤー
雪かき棒
シフトパネル
シフトレバー
シフトノブ
後進２速
後進１速
前進１速
作業灯スイッチ
前進２速
前進３速
前進４速
前進５速
リコイルスターター
走行クラッチワイヤー

8. 各部名称

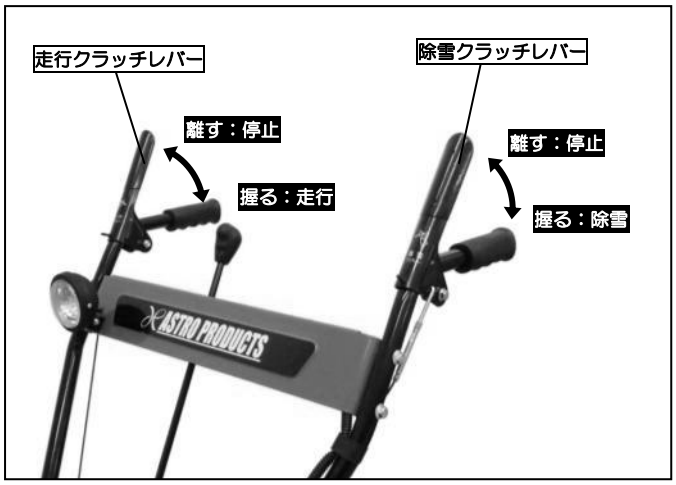

マフラーガード
エアクリーナーカバー
プラグコード
キャブレター
オイルキャップ
オイルドレンボルト


始動スイッチ
ベルトカバー
オイルキャップ
オイルドレンボルト


始動ポンプ
スロットルレバー
燃料コック
リコイルスターターハンドル
チョークレバー

9．各部説明

1．走行・除雪クラッチレバー



●走行クラッチレバーは、前進、後進させるときに使用します。

・握る：走行

・離す：停止

●除雪クラッチレバーは、除雪するときに使用します。

・握る：回転

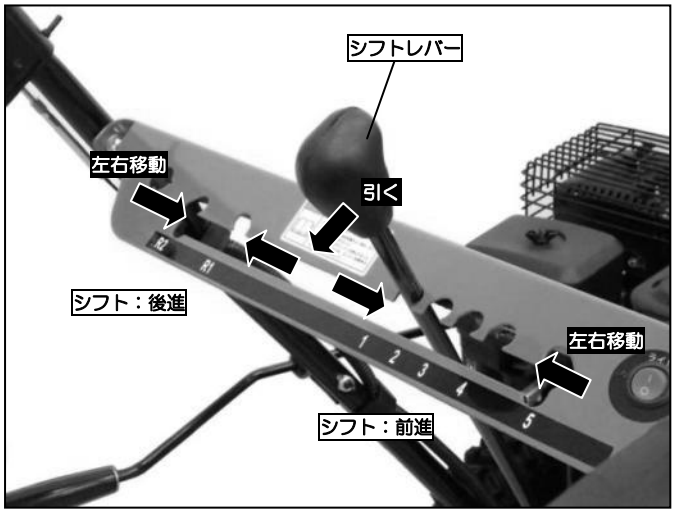
・離す：停止

⚠危険

・緊急時は、速やかに各クラッチレバーを離してください。

・絶対に、ヒモや針金などで、縛って固定しないでください。

2．シフトレバー



●走行、除雪など、使用環境によって、速度を変更することができます。

[シフト]

・前進：１速－２速－３速－４速－５速

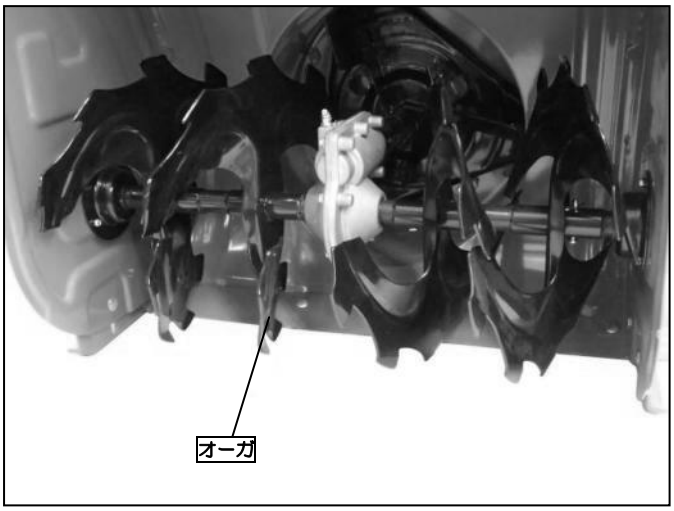
・後進：１速－２速

⚠警告

・前進４・５速、後進２速は、速度が速いので、操作は十分注意してください。

9. 各部説明

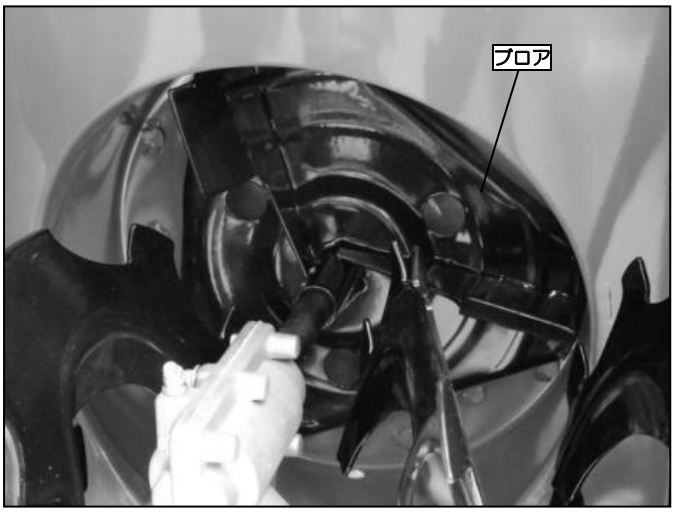
3. オーガ



●雪をかき込む部位です。回転することにより、オーガハウジング内に、雪をかき込みます。
・除雪クラッチレバーを握ると回転します。

⚠危険
・オーガの回転中は、絶対に手や足を入れたり、覗いたりしないでください。

4. ブロア

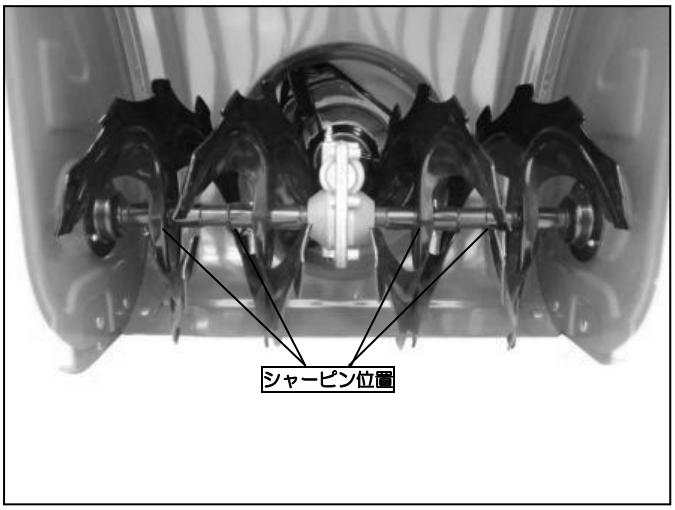


●オーガでかき込んだ雪を、投雪するための部位です。回転することにより、雪をシューターから飛ばします。
・除雪クラッチレバーを握ると回転します。

⚠危険
・オーガの回転中は、絶対に手や足を入れたり、覗いたりしないでください。

9．各部説明

5．シャーピン（消耗品）



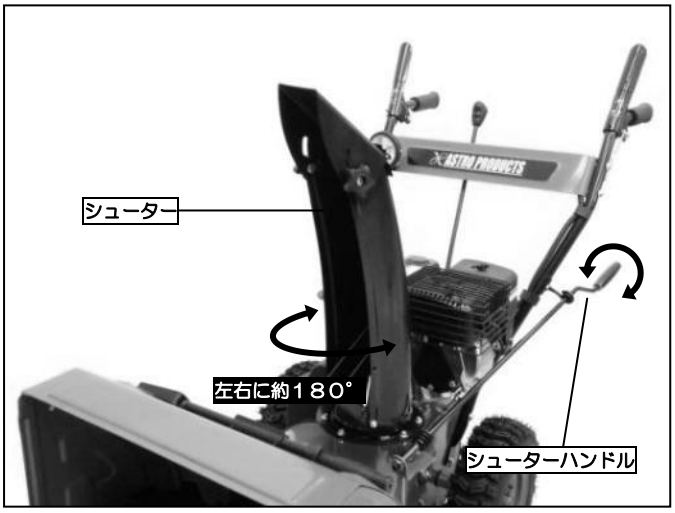
●石や氷などの固い物を、突然噛み込んだときに、除雪機の故障を防ぐための部品です。

・シャーピンを折ることにより、動力伝達部分やエンジンへの損傷を防ぐことができます。

重要

・シャーピンが折損したら、雪は投雪されません。

6．シューター



●投雪方向を調整する部位です。

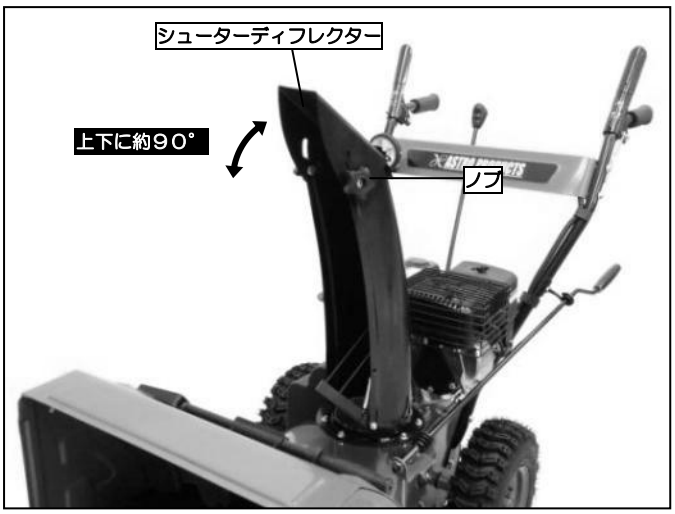
・シューターハンドルを回すことにより左右に約１８０°回転します。

⚠警告

・ハンドル操作中は、各クラッチレバーを、握らないでください。

9．各部説明

7．シューターディフレクター



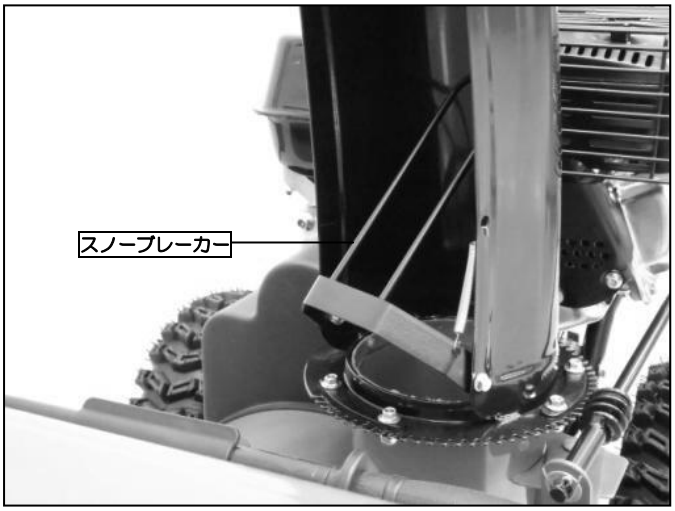
●投雪距離を調整する部位です。

・ノブを緩めることにより上下に約９０°調整できます。

⚠警告

・角度調整中は、各クラッチレバーを、握らないでください。

8．スノーブレーカー

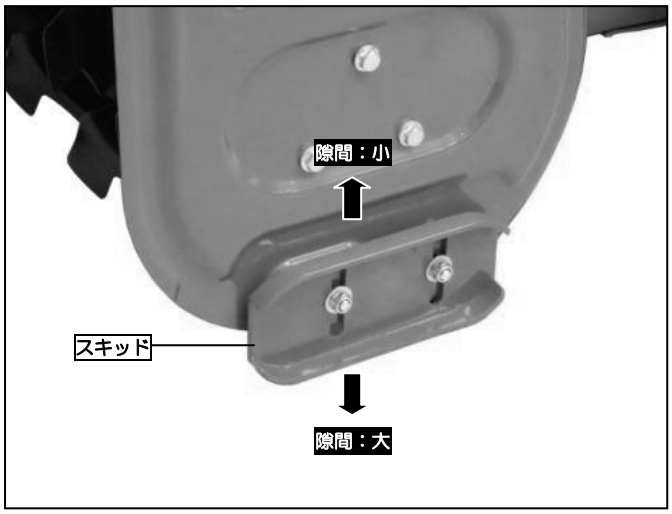


●シューター内側にあり、固い雪を破断する部品です。

・取り外しての使用も可能です。

９．各部説明

９．スキッド



●オーガと地面の隙間を調整します。

［地面がアルファルトやコンクリート］

・隙間を小さくする。

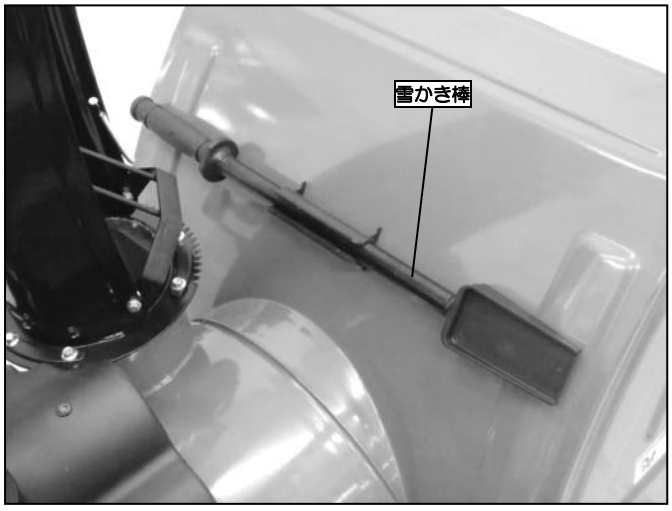
［地面が砂利や小石道］

・隙間を大きくする。

⚠危険

・砂利や小石道で、隙間を小さくすると雪と一緒に投雪され危険です。

１０．雪かき棒



●オーガやブロア、シューター、投雪口に詰まった雪を、取り除く道具です。

・使用後は、元の位置に戻してください。

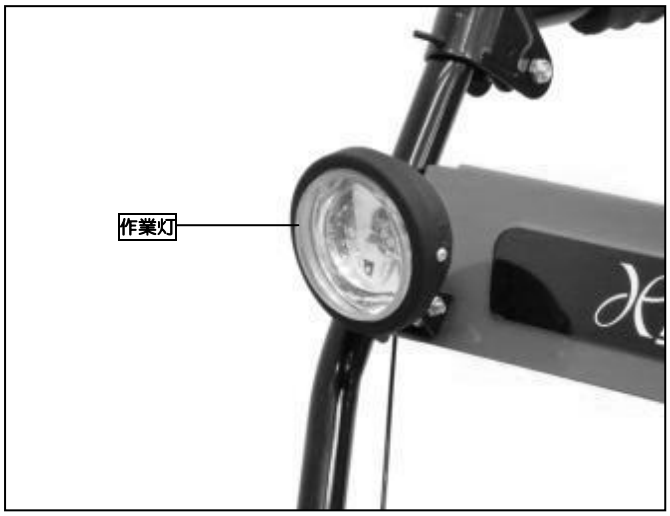
・ケガの恐れがあるので、素手で使用しないでください。必ず、手袋をはめてください。

⚠危険

・使用の際は、必ずエンジンを停止してください。エンジン始動中は、絶対に使用しないでください。

９．各部説明

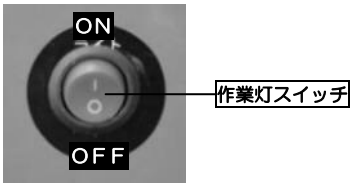
１１．作業灯



●夜間や薄暗いときに点灯させます。

［作業灯スイッチＯＮ］：点灯

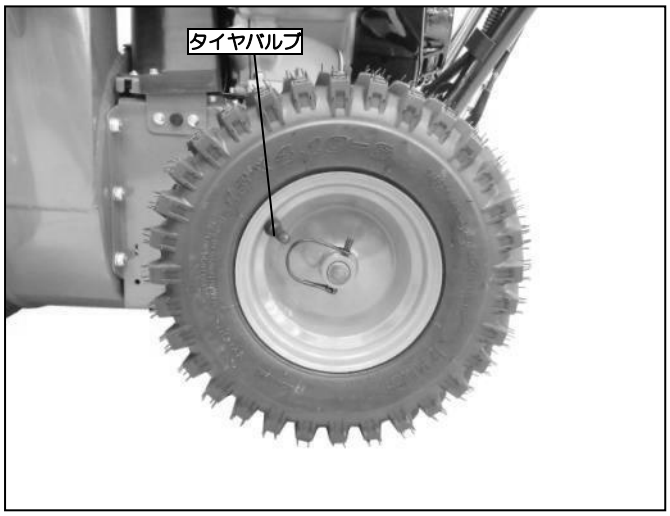
［作業灯スイッチＯＦＦ］：消灯



重要

・作業灯は、エンジンが始動しないと、点灯しません。

１２．タイヤ



●チューブ式のタイヤです。

・空気圧：約０．３ＭＰａ

重要

・空気圧は、定期的に確認し、充填してください。

１０．始動前準備

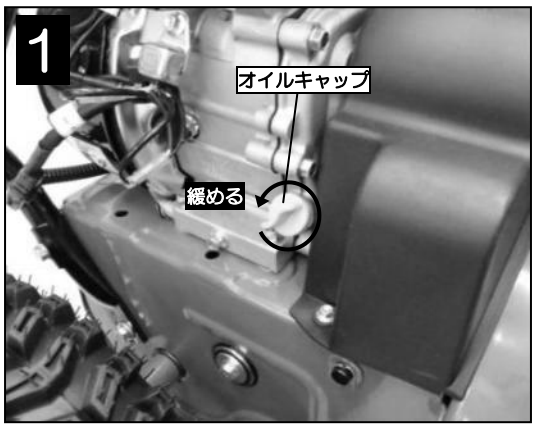
[１０－１．エンジンオイルの給油]

１．エンジンオイルについて

●購入直後のエンジンには、エンジンオイルが入っていません。エンジン始動前には、必ず指定のエンジンオイルを給油してください。

・指定エンジンオイル：４サイクルガソリンエンジンオイル（ＳＡＥ５Ｗ－３０）

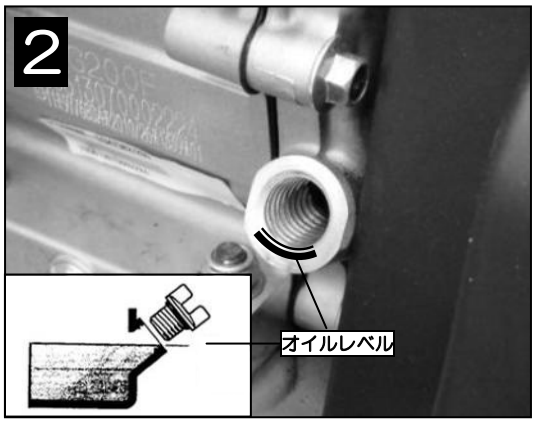
２．給油方法



１）オイルキャップを緩め、エンジンオイルを給油します。

重要

・除雪機は、水平な場所に置いてください。



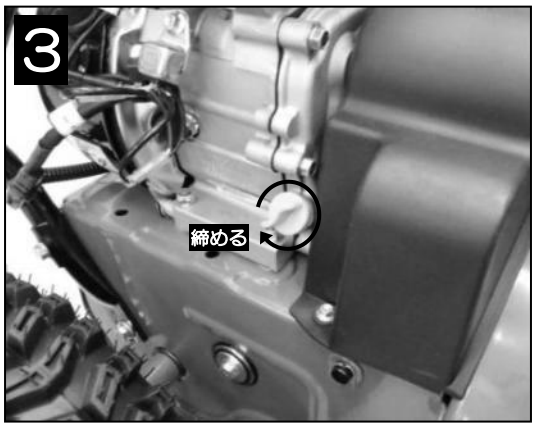
２）オイルレベルまで給油します。

・オイル量：約０．６Ｌ

⚠注意

・給油するときは、こぼさないようゆっくり給油してください。

・エンジンオイルがこぼれた場合は、速やかに拭き取ってください。



３）オイルキャップを、しっかり締め付けます。

１０．始動前準備

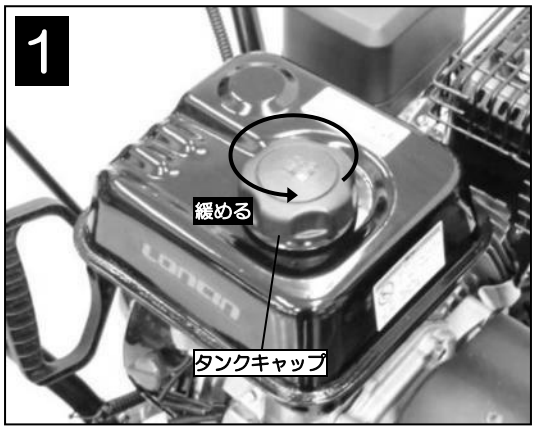
[１０－２．ガソリンの給油]

１．ガソリンについて

●本製品は、無鉛レギュラーガソリンを使用してください。他の燃料は、給油しないでください。

・指定燃料：無鉛レギュラーガソリン

２．給油方法



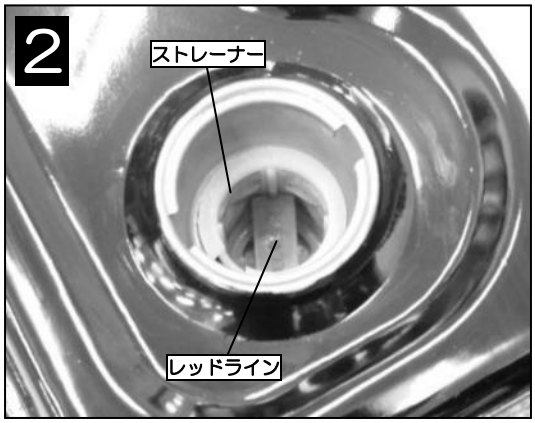
１）タンクキャップを緩め、外します。

⚠危険

・ガソリンの給油中は、火気や火気を発生させる物の側では、給油しないでください。

・通気がよく、換気のできる場所で、給油してください。

・必ず、エンジンを停止してください。



２）１Ｌ以上給油します。

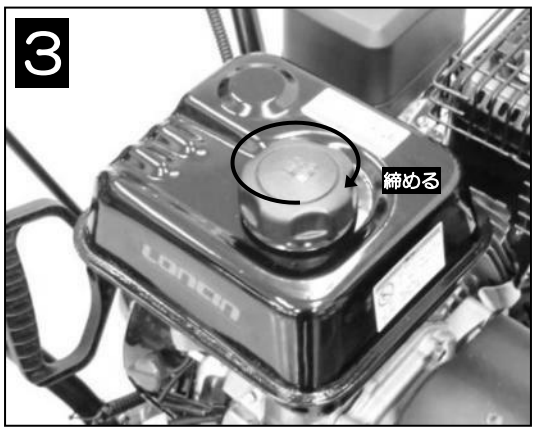
・燃料タンク容量：約２Ｌ

・ストレーナーにあるレッドラインは、給油限度レベルです。レッドライン以上、給油しないでください。

⚠危険

・給油中は、タバコを吸わないでください。

・ガソリンがこぼれた場合は、速やかに拭き取り、完全に乾燥するまで、給油しないでください。



３）タンクキャップを確実に締め、取り付けます。

１１．エンジンの始動・停止

[１１－１．始動方法]

１．エンジンの始動場所について

●以下の場所でのエンジン始動は、止めてください。

・通気の悪い場所（室内・車内・倉庫内・トンネルなど）

・燃料を給油した場所

・建物の近く

・路面が不安定な場所

【エンジン始動に適した場所】

・通気がよく、換気のできる場所

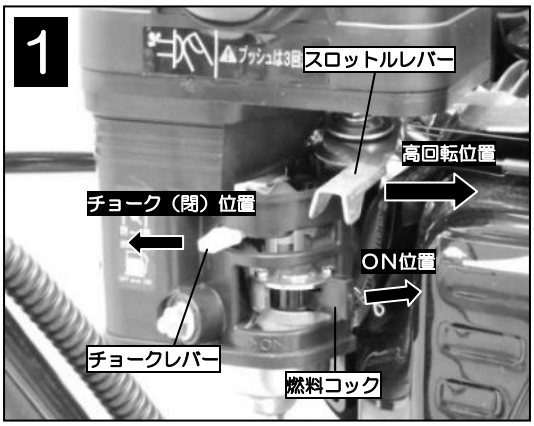
・燃料を給油した場所より、３m以上離れた場所

・建物より、１m以上離れた場所

・固く平らな路面

２．操作方法

●エンジン始動前には、燃料の量、エンジンオイルの量を確認してください。ガソリンの量が不足すると始動困難となり、エンジンオイルの量が不足すると、本体故障の原因となります。



１）各レバーを、操作します。

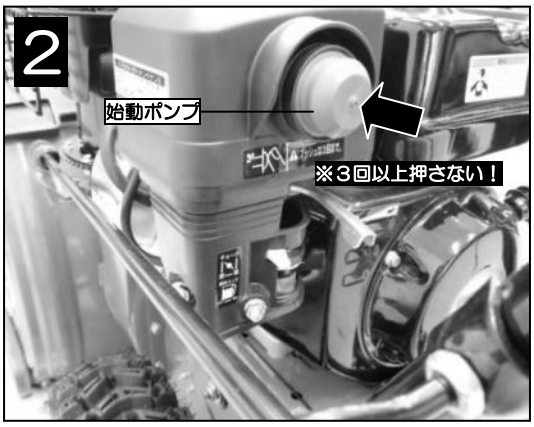
・燃料コック：ON位置

・チョークレバー：チョーク（閉）位置

・スロットルレバー：高回転位置

重要

・エンジンが暖まっているときは、チョークレバーの操作は不要です。



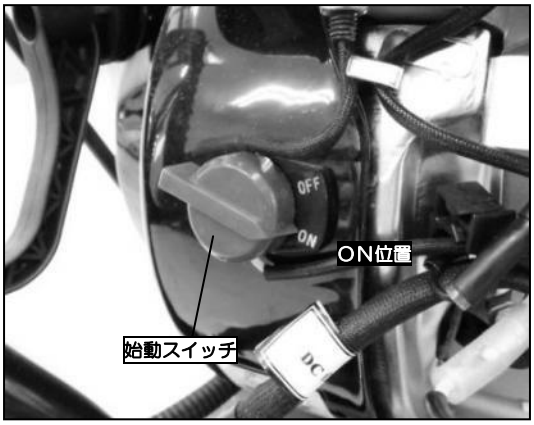
２）始動ポンプを、１～３回押します。

・３回以上、押さないでください。

１１．エンジンの始動・停止

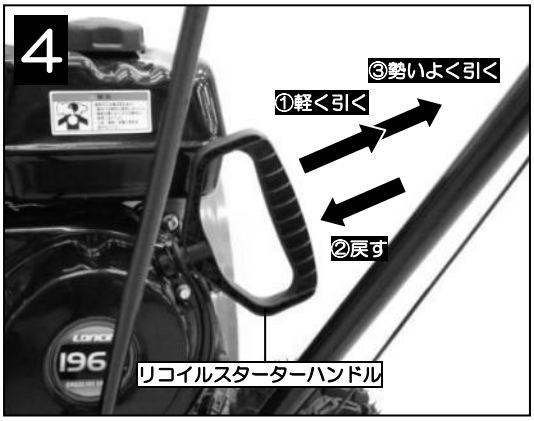
[１１－１．始動方法]

２．操作方法



３）始動スイッチを、操作します。

・始動スイッチ：ＯＮ位置



４）リコイルスターターハンドルを、操作します。

①重くなる位置まで軽く引く

②戻す

③勢いよく、最後まで引く

重要

・１回でエンジンが始動しないときは、①から操作を繰り返してください。

５）エンジン回転が安定するのを確認しながら、チョークレバーを、徐々に戻します。

・チョークレバー：チョーク（開）位置

１１．エンジンの始動・停止

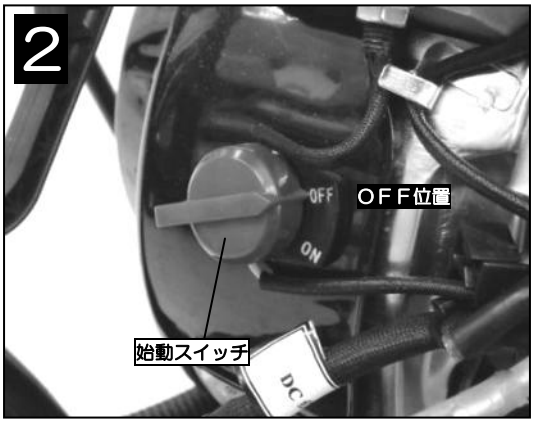
[１１－２．停止方法]

１．エンジンの停止場所について

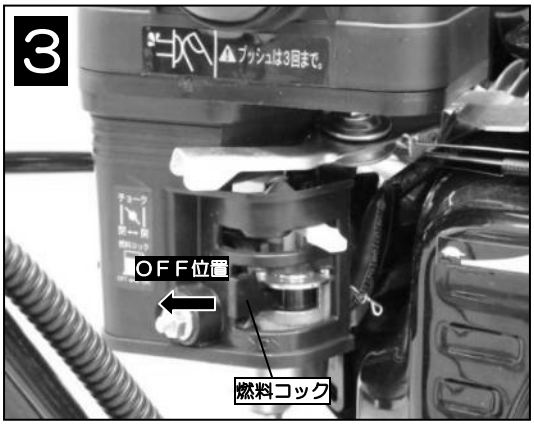
●エンジン停止も、エンジン始動同様に、通気がよく、換気のできる場所で行ってください。通気が悪く、換気ができない場所では、止めてください。

２．操作方法

１）スロットルレバーを、操作します。
・スロットルレバー：低回転位置



２）始動スイッチを、操作します。
・始動スイッチ：ＯＦＦ位置



３）燃料コックを、操作します。
・燃料コック：ＯＦＦ位置

⚠警告

・エンジン停止直後の、エンジンやその周辺は、大変高温になっています。近づいたり、触れたりしないでください。

１２．運転の方法

[１２－１．前進方法]

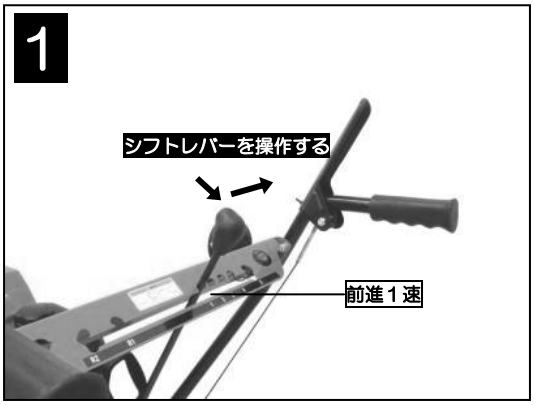
１．走行前の確認

●周囲の安全を、よく確認してください。

●エンジンの始動方法を、よく確認してください。

・[１１．エンジンの始動・停止]参照（Ｐ２４）

２．操作方法



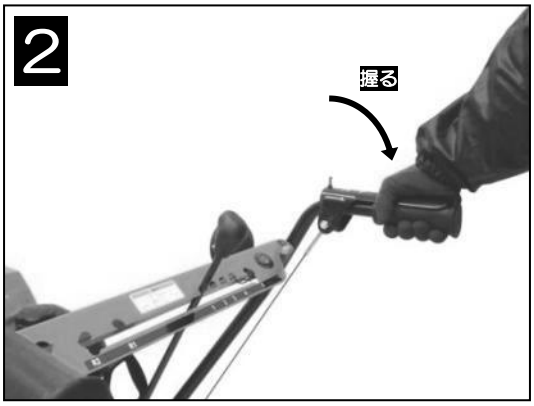
１）シフトレバーを、前進１速（低速）～前進５速（高速）の、何れかの位置に合わせます。

・除雪のときは、１速などの低速で行ってください。

・シフトレバーの操作は、走行を停止させてから、行ってください。

⚠警告

・慣れていないときは、５速などの速い速度で、走行しないでください。



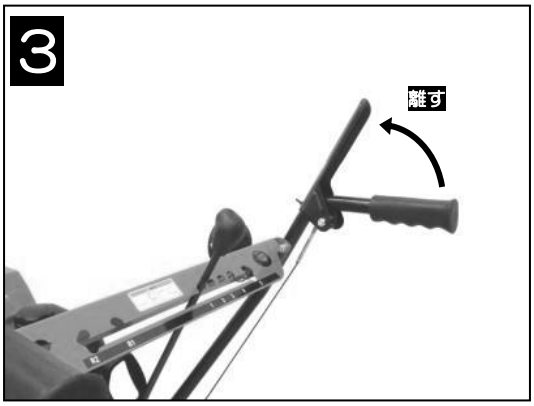
２）走行クラッチレバーを握ると、前進します。

⚠注意

・片手で操作しないでください。左手は、必ず除雪クラッチレバー側のハンドルを、しっかり握ってください。

・走行中は、シフトチェンジしないでください。

・曲がるときは、本体を曲がる方向に向けます。



３）走行クラッチレバーを離すと、停止します。

⚠危険

・危険を感じたら、直に走行クラッチレバーを、離してください。

１２．運転の方法

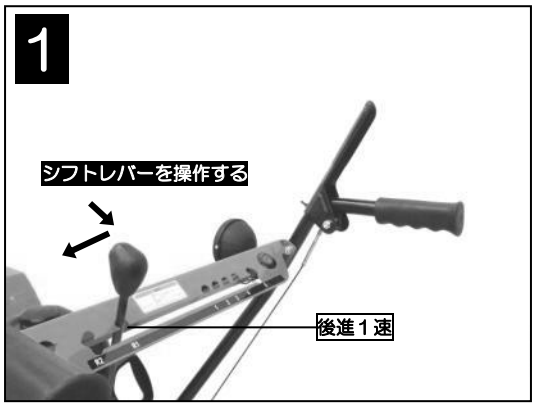
[１２－２．後進方法]

１．走行前の確認

●後方の安全をよく確認、足元に十分注意してください。

●滑りやすい路面では、ゆっくり慎重に後進してください。

２．操作方法

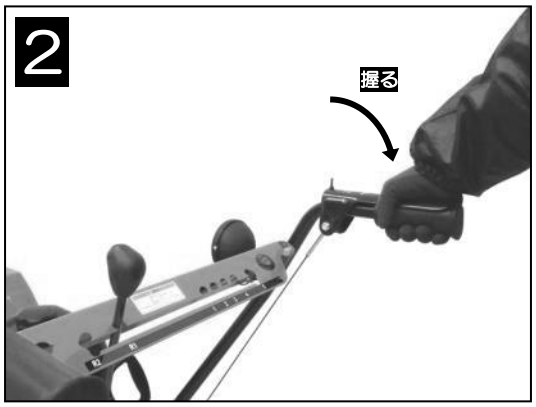


１）シフトレバーを、後進１速、または後進２速の、何れかの位置に合わせます。

・シフトレバーの操作は、走行を停止させてから、行ってください。

⚠警告

・慣れていないときは、２速などの速い速度で、走行しないでください。



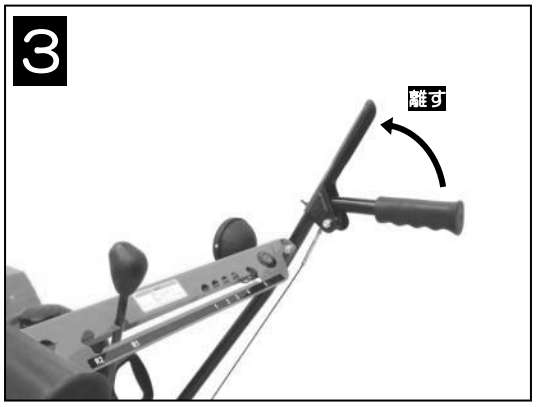
２）走行クラッチレバーを握ると、前進します。

⚠注意

・片手で操作しないでください。左手は、必ず除雪クラッチレバー側のハンドルを、しっかり握ってください。

・走行中は、シフトチェンジしないでください。

・曲がるときは、本体を曲がる方向に向けます。



３）走行クラッチレバーを離すと、停止します。

⚠危険

・危険を感じたら、速やかに走行クラッチレバーを、離してください。

１３．除雪の方法

[１３－１．準備]

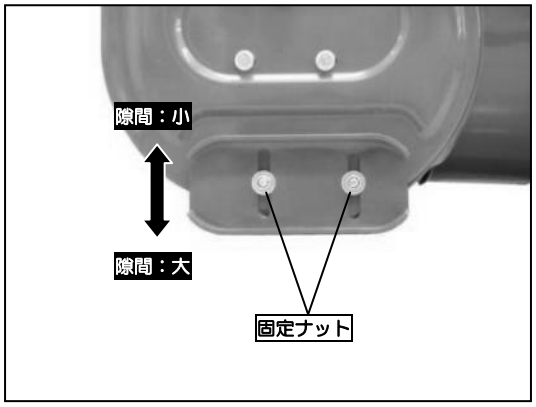
１．除雪作業準備

●除雪作業前には、必ず除雪作業場所を、よく点検してください。木片、缶、石、針金、ナワ、金属片などの異物は、全て取り除いてください。

●作業間には、必ず防寒用の衣類を着用してください。

２．各部調整

●エンジン始動前に、除雪場所に応じて、各部を調整してください。

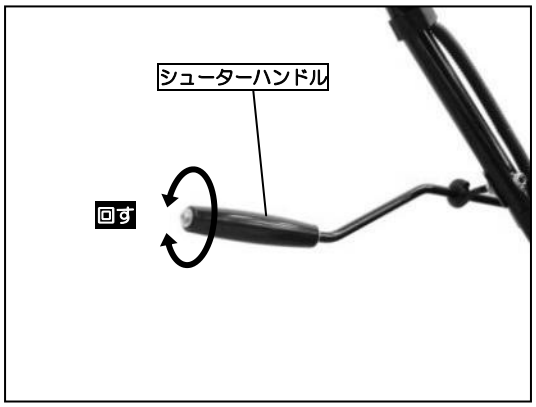


【スキッドの高さ調整】

・固定ナットを緩め、路面状況に適した高さに、左右のスキッドを、同じ高さに調整します。

・調整後は、固定ナットを確実に締め付けてください。
［アルファルトやコンクリート路面］⇒ 隙間小さく
［地面が砂利や小石道］⇒ 隙間大きく

・除雪作業中に、再調整するときは、必ずエンジンを停止させてください。

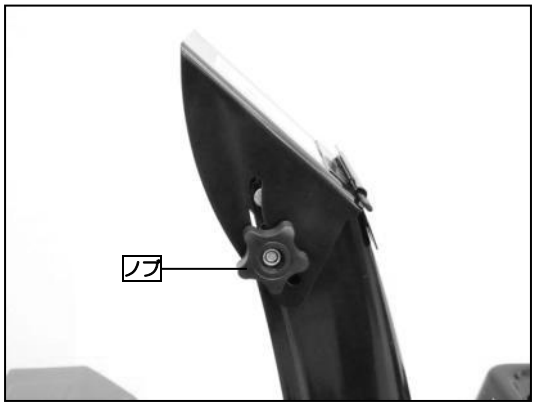


【シューターの向き調整】

・シューターハンドルを回し、向きを調整します。

⚠危険

・シューターを、人や動物、建物、自動車などに向けないでください。



【シューターディフレクターの角度調整】

・左右のノブを緩め、角度を調整します。

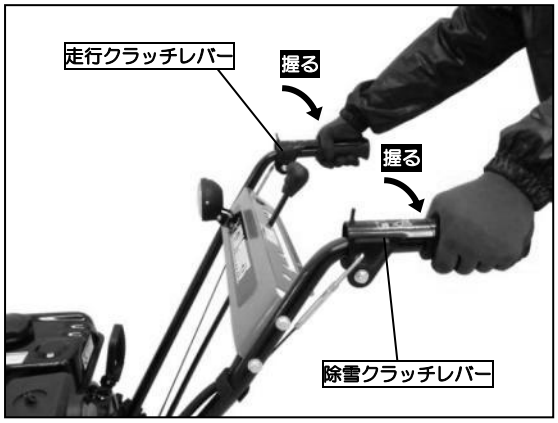
⚠危険

・シューターを、人や動物、建物、自動車などに向けないでください。

１３．除雪の方法

[１３－２．除雪]

１．除雪操作



⚠危険

- **オーガ・ブロア回転中に、手や足を、絶対に近づけたり、入れたりしないでください。**
- **シューターを覗き込まないでください、**
- **危険を感じたら、走行・除雪クラッチレバーを、直に離してください。**
- **走行・除雪クラッチレバーを、ヒモや針金などで、固定しないでください。**

１）エンジンを、始動させます。

・[１１．エンジンの始動・停止]参照（Ｐ２４）

２）シフトを、１速、または２速にします。

３）走行クラッチレバーを握ります。

４）除雪クラッチレバーを握ります。

・本製品は、除雪クラッチレバーを固定する機能は備わっていません。

・除雪作業中に、エンジン回転数が下がるときは速度が速すぎるので、減速してください。

・投雪向き・距離を調整するときは、スロットルレバーを低速位置にしてから、調整してください。

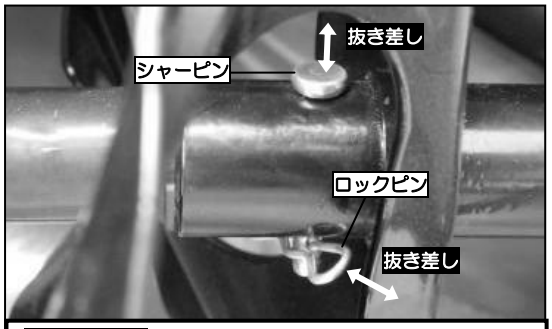
・スキッドの高さを調整するときは、一度エンジンを、停止させてから、調整してください。

５）エンジンを、停止します。

・[１１．エンジンの始動・停止]参照（Ｐ２４）

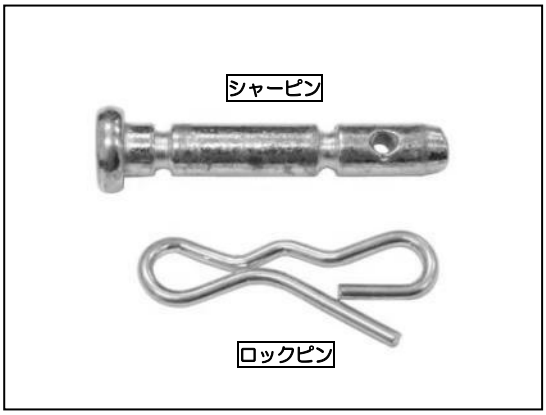
２．シャーピンの交換

●投雪されなときは、シャーピンが折れています。シャーピンが折れたら、新品と交換してください。



⚠危険

- **必ず、エンジンを停止させてください。**



１）ロックピンを取り外し、シャーピンを抜きます。

２）新品のシャーピンを差し込み、ロックピンで固定します。

１４．点検・整備

[１４－１．定期運転・交換]

●保管状態でも、常に使用できる状態を保つため、定期運転・交換を行ってください。

【定期運転】

・１ヶ月に一度、エンジンの始動状態を確認してください。

【定期交換】

・燃料を、燃料タンクに残したまま保管する場合は、燃料の変質を防ぐため、３ヶ月に１度、燃料を交換してください。

・長期間保管する場合は、必ず燃料を全て抜いてください。

[１４－２．点検・交換目安]

●目安時間・期間が経過したら、速やかに点検・交換してください。

●点検・交換目安は、期間毎、または運転時間毎のどちらか早い方で行ってください。

●各点検交換作業は、必ずエンジンを停止させてください。

【点検目安表】

	使用前点検 （毎回点検）	１ヶ月または ２０時間運転	３ヶ月または ５０時間運転	６ヶ月または １００時間運転	１年または ３００時間運転
エンジンオイル	点検	交換 ※２		交換	交換
エアクリーナー	点検・清掃 ※１		点検・清掃	点検・清掃	
スパークプラグ				点検・清掃・調整	交換
燃料タンク			点検・清掃		
ギアケース		点検			

※１）ホコリなどが多い場所で使用した場合、エアクリーナーを１０時間運転後、または１日１回清掃してください。

※２）エンジンオイルは、初回運転時のみ１ヶ月、または２０時間運転後に交換してください。それ以降は６ヶ月、または１００時間運転後に交換してください。

１４．点検・整備

[１４－３．エンジンオイルの点検・交換]

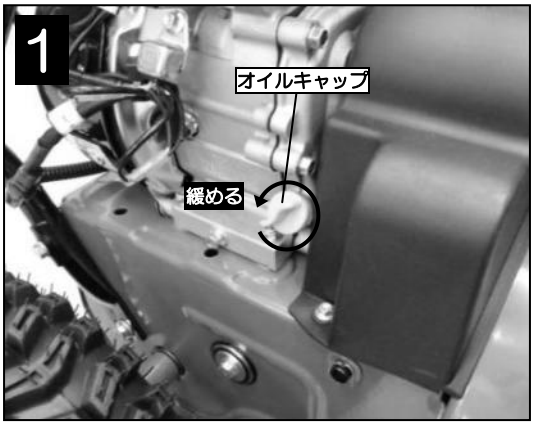
【エンジンオイルの交換時期】

●初回交換：１ヶ月、または２０時間運転後

●初回以降交換：６ヶ月毎、または１００時間運転後

●推奨エンジンオイル：４サイクルガソリンエンジンオイル（ＳＡＥ５Ｗ－３０）

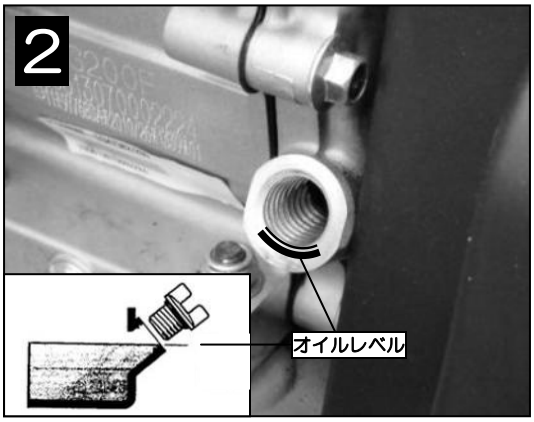
【エンジンオイルの点検】



１）オイルキャップを緩めて、外します。

重要

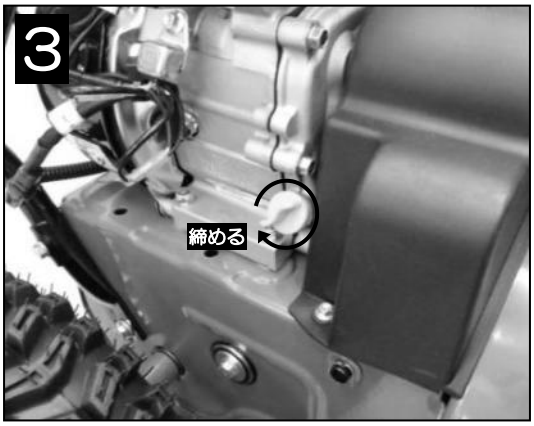
・除雪機は、水平な場所に置いてください。



２）オイルレベルまで、オイルが入っているか点検してください。

［オイルキャップで点検する場合］

・給油口に差し込み、「H」レベルと「L」レベルの間に、オイルが付着すれば適量となります。

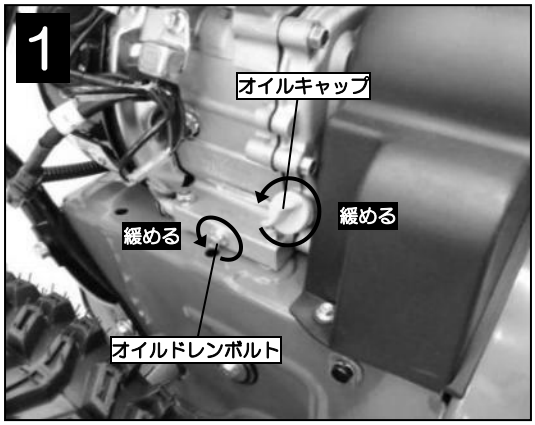


３）オイルキャップを、しっかり締め込んでください。

１４．点検・整備

［１４－３．エンジンオイルの点検・交換］

【エンジンオイルの交換】



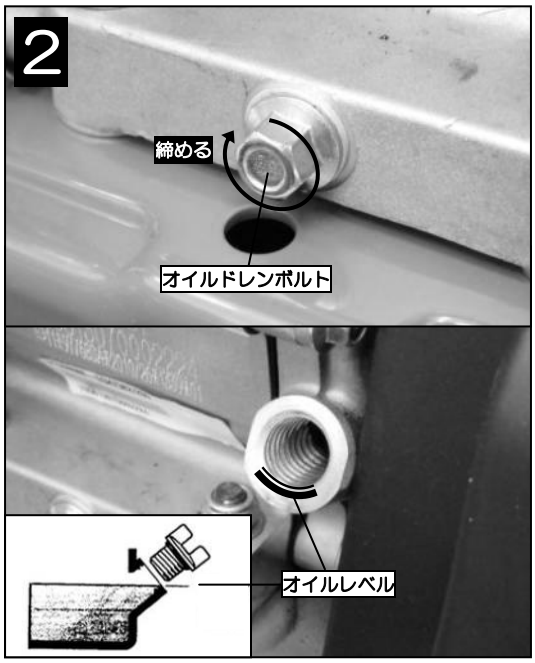
１）除雪機を、水平にします。

・オイルキャップを緩めて外します。

・オイルドレンボルトを緩めて外し、オイルを容器に受けます。

⚠警告

・エンジン停止直後のエンジンオイルは、大変高温になっています。必ず、冷めてから、オイルを抜いてください。



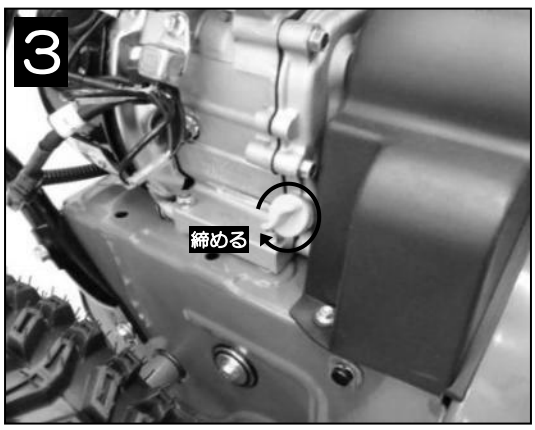
２）オイルドレンボルトをしっかり締め付け、オイルレベルまで給油します。

・オイル量：約０．６Ｌ

⚠注意

・給油するときは、こぼさないようゆっくり給油してください。

・エンジンオイルがこぼれた場合は、速やかに拭き取ってください。



３）オイルキャップを、しっかり締め付けます。

１４．点検・整備

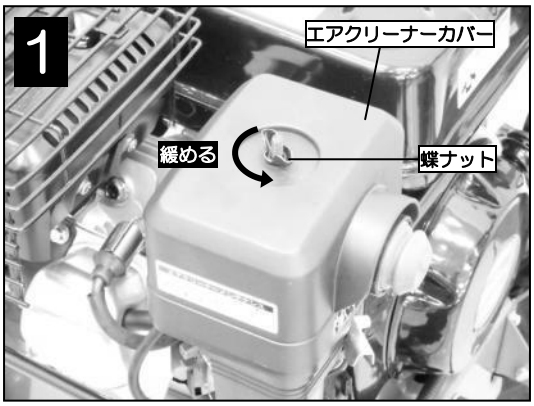
[１４－４．エアクリーナーの清掃]

【エアクリーナーの清掃時期】

●通常：３ヶ月、または５０時間運転後

●使用時：使用後、または１０時間運転後

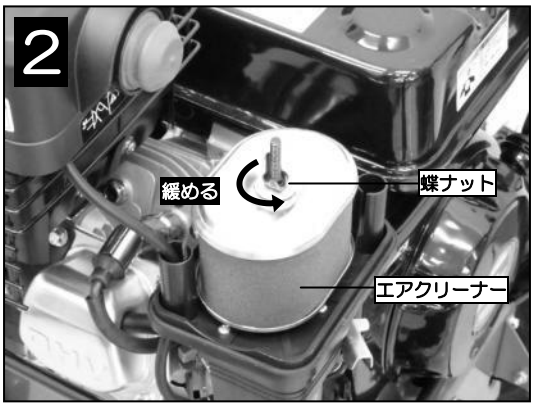
【エアクリーナーの清掃】



１）蝶ナットを緩め、エアクリーナーカバーを外します。

⚠危険

・必ず、エンジンを停止してください。

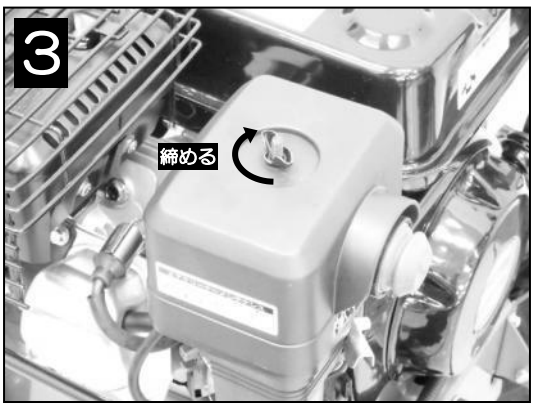


２）蝶ナットを緩め、エアクリーナーを、取り外します。

［清掃］

・取り外したエアクリーナーは、圧縮空気を使用し、汚れを飛ばします。このとき、エアクリーナーを破損させないよう、注意してください。

・エアクリーナーが損傷・破損している場合は、新品と交換してください。



３）取り外した逆の手順で、組み付けます。

⚠警告

・エアクリーナーが付いていない状態で、エンジンを始動させないでください。エンジンの不調や、故障、事故の原因となります。

１４．点検・整備

［１４－５．スパークプラグの点検・交換］

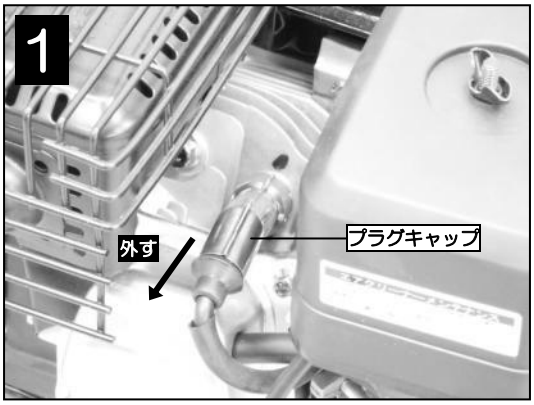
【スパークプラグの点検・清掃・交換時期】

●点検・清掃：６ヶ月、または１００時間運転後

●交換：１年、または３００時間運転後

●標準スパークプラグ：Ｆ７ＲＴＣ（ＬＧ）

【スパークプラグの取り外し】



１）プラグキャップを、外します。

⚠危険

・必ず、エンジンを停止してください。

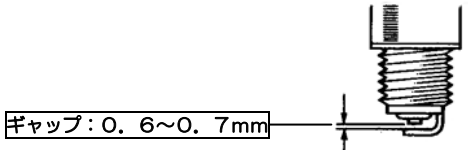
・エンジン停止直後のスパークプラグは、大変高温になっています。冷めてから取り外してください。

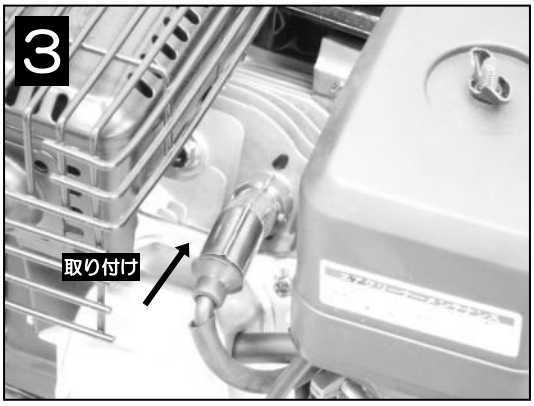
２）付属のプラグレンチでスパークプラグを取り外します。

［清掃・点検］

・電極のカーボンを、ワイヤーブラシで除去します。このとき、碍子を損傷させないでください。

・スパークプラグのギャップ（隙間）を点検します。





６）取り外した逆の手順で、組み付けます。

・交換する場合は、新品を取り付けてください。

・スパークプラグの締め過ぎに、注意してください。

・プラグキャップは、しっかり確実に取り付けてください。

⚠危険

・指定外のスパークプラグは、重大な事故の原因となります。絶対に使用しないでください。

１４．点検・整備

［１４－６．ギアケースの点検］

【ギアケースの点検時期】

●準備（別途用意）：グリスガン、グリス（リチウム系耐熱グリス）

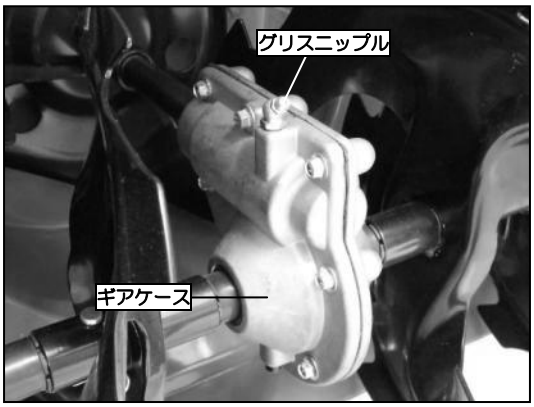
●点検（グリス注入）：２０時間運転後

・ギアケースの損傷・破損の点検

・ボルトの増し締め

・グリスの注入

【ギアケースの点検】



●損傷・破損を確認し、ボルトを増し締めしてください。

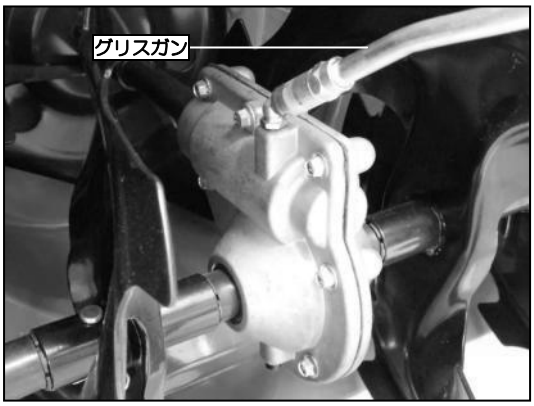
・ボルトの締め過ぎに注意してください。

・グリスニップルに損傷がある場合は、新品と交換してください。

⚠危険

・必ず、エンジンを停止してください。

【グリスの注入】



●グリスニップルに、グリスガンを接続し、グリスを注入します。

・グリスガンの使用方法は、グリスガンの取扱説明書に従ってください。

・余分なグリスを、きれいに拭き取ってください。

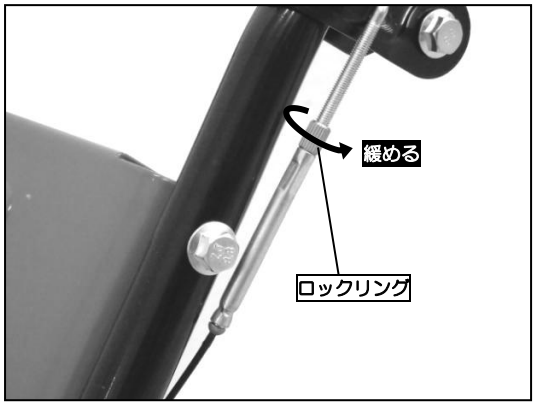
⚠危険

・必ず、エンジンを停止してください。

１４．点検・整備

[１４－７．各クラッチレバーの調整]

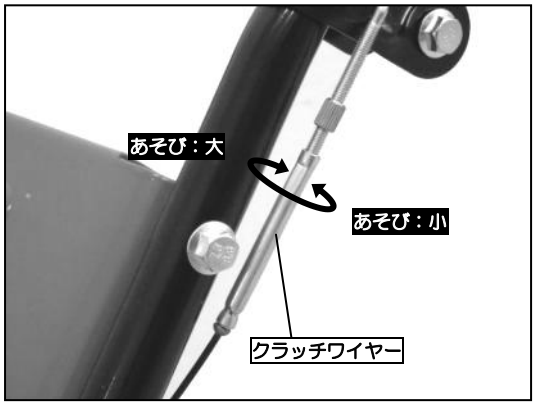
【走行・除雪クラッチレバーのあそび調整】



1）ロックリングを、緩めます。

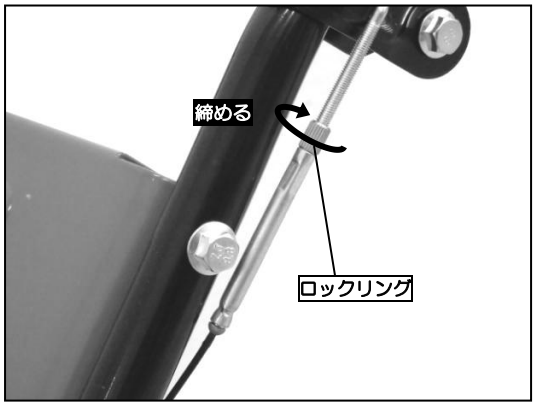
⚠危険

・必ず、エンジンを停止してください。



2）クラッチレバーの遊びを確認します。

・あそび：約１～３ｃｍ



3）ロックリングを締め付け、しっかり固定します。

１５．燃料の抜き方

●長期保管、運搬時には、必ず燃料を抜き取ってください。燃料は、長期間放置すると劣化し、エンジン始動困難など、故障原因となります。

●燃料は取り扱いを誤ると、火災、爆発など、重大な事故の原因となります。必ず、以下の内容に従ってください。

⚠危険

・タバコを吸わない。
・火気や、火気を発生させる物の側で抜き取らない。
・通気がよく、換気のできる場所で抜き取る。
・静電気を除去してから抜き取る。
・エンジンを停止させる。

●燃料を受ける耐ガソリン性の容器を準備してください。

●抜き取った燃料は、容器の取扱説明書従うか、お住まいの自治体の処理方法に従ってください。

【燃料を抜く】

１）タンクキャップを緩め、外します。
２）燃料コックを、ONにします。
３）キャブレターのドレンボルトを緩め、燃料を容器に受けます。このとき、フロートボルトは緩めないでください。

⚠危険

・こぼれたガソリンは、速やかに拭き取ってください。

４）完全に燃料が抜けたら、ドレンボルトをしっかり締め付けます。
５）ストレーナーを取り出し、清掃します。
６）タンクキャップを確実に締め、取り付けます。

キャブレター側に、少し傾ける。

［ ポイント ］

・除雪機を、キャブレター側に少し傾けると、燃料タンク内のガソリンが、抜けやすくなります。
・横転の恐れがあるので、傾け過ぎに注意してください。

１６．運搬・保管

[１６－１．運搬]

●トラックなどで除雪機を運搬する場合、以下の内容に従い、運搬してください。

【運搬方法】

１）燃料を、全て抜きます。

・[１５．燃料の抜き方]参照（Ｐ３８）

２）除雪機に、カバー掛けます。

３）タイヤに、輪止めをします。

４）ロープなどで、本体をしっかり固定します。

[１６－２．保管]

●長期間保管する場合は、以下の内容に従い、保管してください。

【保管方法】

１）燃料を、全て抜きます。

・[１５．燃料の抜き方]参照（Ｐ３８）

２）スパークプラグを取り外し、４サイクルガソリンエンジンオイルを数滴たらします。

・オイルの入れ過ぎに注意してください。

３）リコイルスターターハンドルを、数回引きます。

・エンジンオイルを、行き渡らせます。

４）スパークプラグを、取り付けます。

５）リコイルスターターハンドルを、重くなる位置まで軽く引きます。

６）各可動部に、潤滑油を給油します。

７）各部の汚れを取り除き、防錆処理を施します。

８）除雪機に、カバーを掛けます。

９）屋内で湿気がなく、換気のよい場所に保管します。

１７．トラブルシューティング

症状	原因	原因箇所と原因	対策
エンジンが始動しない。	燃料系統を確認 ※燃焼室に燃料が供給されていない。	燃料タンクが空になっている。	燃料を給油する。
		燃料ホースが詰まっている。	※お近くの専門業者に相談してください。
		燃料コックが詰まっている。	※お近くの専門業者に相談してください。
		キャブレターが詰まっている。	※お近くの専門業者に相談してください。
	電気系統を確認 ※スパークプラグより火花が飛んでいない。	スパークプラグが汚れている。	スパークプラグの清掃を行う。
		スパークプラグにカーボンが付着している。	スパークプラグの清掃を行う。
		点火系統の不良	※お近くの専門業者に相談してください。
	圧縮系統を確認 ※圧縮不足、圧縮漏れ	ピストンリングが損傷している。	※お近くの専門業者に相談してください。
除雪しない。	オーガ・ブロアを確認	雪が詰まっている。	雪かき棒で、詰まった雪を取り除いてください。
		シャーピンが折れている。	新品のシャーピンと、交換してください。
	除雪クラッチワイヤー確認	あそびが大きい	あそびを調整してください。
		除雪クラッチレバーから、除雪クラッチワイヤーが外れている。	除雪クラッチワイヤーを、取り付けてください。
		除雪クラッチワイヤーが、切れている。	新品の除雪クラッチワイヤーと、交換してください。
	除雪ベルトを確認	除雪ベルトが摩耗、または切れている。	※お近くの専門業者に相談してください。
走行しない。	タイヤを確認	空気が入っていない。	空気を入れてください。
		パンクしている。	※お近くの専門業者に相談してください。
	走行クラッチワイヤー確認	あそびが大きい	あそびを調整してください。
		走行クラッチレバーから、走行クラッチワイヤーが外れている。	走行クラッチワイヤーを、取り付けてください。
		走行クラッチワイヤーが、切れている。	新品の走行クラッチワイヤーと、交換してください。
	走行ベルトを確認	走行ベルトが摩耗、または切れている。	※お近くの専門業者に相談してください。
	走行ディスク・シフトプーリー確認（本体下部カバー内）	走行ディスクの破損、またはシフトプーリーのラバーの摩耗・損傷	※お近くの専門業者に相談してください。

１８．破棄について

●本製品を廃棄する場合は、お住まいの各自治体のゴミ廃棄方法に従って、廃棄してください。

●指定された廃棄方法以外で、本製品を廃棄しないでください。

１９．所有者・使用者責任

●所有者、および使用者は当該商品を使用する前に、メーカーからの説明書（警告文）をよく読み、理解しなければなりません。

●資格を持ち、製品の構造、および構成している部品をよく理解し、十分な経験のある人が責任を持って、当該商品を使用した作業を行うようにしてください。

●危険・警告事項は、特によく理解するようにしてください。

●所有者、および使用者は今後の作業のうえで、メーカーからの推奨事項を常に把握し、維持するように、努めてください。

●重要ラベル、説明書については、いつでも読むことができるように、よい状態で保管してください。

２０．故障について

●当社では、修理、引き取り、訪問などの対応を行っておりません。故障と思われる場合には、恐れ入りますが、お近くの専門業者に、ご依頼ください。

●修理技術者以外の人は、絶対に分解、または修理を行わないでください。

２１．販売規約

●本製品は、以下の販売規約に同意の元、ご購入頂いております（販売規約文面抜粋）。当社では、販売規約に準じた対応をとらせていただきますこと、ご了承ください。

（１）現状態の販売品でございます。

・現状態により、外観上のキズやサビなどをご理解ご了承の上、組み立て品を、お持ち帰りいただける方に限り、販売とさせていただいております。

※恐れいりますが、上記についてご理解いただけない場合、もしくはお持ち帰りの困難な方、配送を必要とする方の販売は控えさせていただきますこと、ご了承ください。

※値引き対応は応じかねますので、ご了承ください。

（２）お渡しの際、エンジン始動は行っておりません。

・エンジンオイル、ガソリンのご用意はございませんので、ご準備下さいますよう、お願い申し上げます。

（３）当社規定の６ヶ月保証、定期点検につきましては対象外とさせていただきます。

・当製品は現状販売のため、６ヶ月保証、定期点検対象外とさせていただきます。

・初期不良以外の保証対応は応じかねますので、ご了承ください。

※初回使用、または購入後１週間以内での不具合に限り、初期不良として対応させていただきます。

（４）訪問対応や、引き取り回収業務は行っておりません。

・初期不良の場合は、購入店までお持ち下さいますこと、ご了承ください。

（５）修理対応は出来かねますこと、ご了承ください。

・当製品の修理につきましては、当社では一切お受けできかねますこと、ご了承ください。

・修理などにつきましては恐れ入りますが、お近くの専門業者にご依頼ください。また、初期不良以外の起因による不具合、破損などは、当社では責任を負いかねますこと予め、ご了承ください。

・修理費用、並びに修理工場への引き取り費用などの負担、及び引き取りなどの業務は、当社では負いかねますこと、ご了承ください。

（６）部品供給

・ベルトやシャーピンなどの、部品の供給は可能でございます。お求めの場合は、お買い求めの販売店へ、ご相談ください。

・他社製品との互換性などに関するご質問には、お答え出来かねます。また、他社製品の部品を使用して生じたいかなる損害に対しまして、当社では一切の保証、並びに責務を負いかねますところ、ご了承ください。

２２．アフターサービス

[２２－１．個人情報の取り扱い]

●ご提示いただいた、ご住所、お名前などの個人情報は、修理や相談のためのみに、利用させていただきます。

●個人情報は、適切に管理し、修理業務を委託する場合や、正当な理由がある場合を除き第三者に開示、提供することはありません。

[２２－２．お問い合わせ先]

１．カスタマーサービス

●商品についてのお問い合わせは、下記の番号までご連絡ください。

【ＴＥＬ】：０４８－５０１－７８７３

【受付時間】：月曜～金曜　１０：００～１８：００（土・日曜、祝日を除く）

２．販売元

●会社名：株式会社ワールドツール

●住所：〒３６９－１１０６　埼玉県深谷市白草台２９０９－５０

【ＴＥＬ】：０４８－５０１－７８７１

【ＦＡＸ】：０４８－５０１－７８７２

【ホームページ】：ｈｔｔｐ：／／www．ａｓｔｒｏ－ｐ．ｃｏ.ｊｐ

※住所・電話番号・受付時間が、予告なく変更になることがありますので、ご了承ください（２０１３年１１月）。

※上記電話番号が利用できない場合は、各地域の販売店へご連絡ください。